

香川県立ミュージアム
中期活動計画
(平成30年度～平成34年度)

平成30年4月
香川県立ミュージアム

目 次

I	香川県立ミュージアム中期活動計画策定の趣旨など	1
II	ミュージアムの使命.....	2
III	施策体系	3
IV	重点項目.....	4

I 香川県立ミュージアム中期活動計画策定の趣旨など

1 趣 旨

香川県立ミュージアム（以下「ミュージアム」という。）は、平成20年4月、県立文化施設の再編整備に伴い、ミュージアムを本館とし、瀬戸内海歴史民俗資料館及び香川県文化会館を分館とする組織となりました。ミュージアムは香川県歴史博物館と香川県文化会館の美術部門を統合し、歴史博物館と美術館双方の機能をあわせ持つ全国的にも稀な総合的ミュージアムとしての活動をはじめました。

以来、本館は主に歴史や美術分野に関する活動を、瀬戸内海歴史民俗資料館は瀬戸内地方を対象にした民俗分野に関する活動を、文化会館は県民の文化芸術活動の支援を行ってきました。

ミュージアム発足から10年を経過し、今後とも、文化芸術の振興による夢と希望あふれる香川づくりに寄与し、県民の期待により応えられる施設として維持・発展するため、香川県文化芸術振興計画（平成30年度～34年度、以下「文化芸術振興計画」という。）に基づき、ミュージアムの使命や活動目標・内容などを定めた新たな中期的な計画を策定するものです。

2 計画期間

平成30年度から34年度までの5年間とします。

3 計画の対象

ミュージアム本館、瀬戸内海歴史民俗資料館、香川県文化会館を計画の対象とします。

Ⅱ ミュージアムの使命

1 地域の人びとと地域活性化に取り組み、ともに成長するミュージアム

- ・地域の人びととともに、固有の文化資源の掘り起こしと磨き上げに取り組み、活用を図ります。
- ・学校や文化団体をはじめ地域の幅広い人びとと連携することにより、子どもたちの豊かな感性、想像力を育て、人材育成に貢献します。
- ・これらの活動により地域を活性化するとともに、協働を通じて成果を共有し地域のニーズを把握して、館外活動を含めた利用者数の増加などミュージアムの成長につなげていきます。

2 香川の文化創造に寄与し、豊かな社会を実現する原動力となるミュージアム

- ・香川や瀬戸内の美術や歴史、民俗について、特色ある作品・資料の収集、分野を超えて成果をつなぐ調査・研究の蓄積と発信に取り組み、「知の拠点」としての役割を果たします。
- ・県民の主体的な文化芸術活動を推進し、香川の文化力の向上を図ります。
- ・これら香川の文化創造により、豊かな社会を実現する原動力となることを目指します。

3 香川の魅力を発信し、感動を呼び起こすミュージアム

- ・県民一人ひとりのもとより、全国、世界の人々の集うような展示や各種行事を開催します。
- ・これらの活動を通じて、香川・瀬戸内の美術や歴史、民俗と出会い、人が交流するミュージアムとなることにより、訪れた人びとに香川の魅力を伝え、文化芸術への感動を呼び起こします。

III 施策体系

使命を果たすための施策体系を設定します。

【使命】	【基本方針】	【活動目標】	【活動内容】※ゴチック体が重点項目	
1 地域の人びとと地域活性化に取り組み、ともに成長するミュージアム	1 県民との協働や地域活性化への貢献	(1) 地域や県民などとの協働	①地域の文化資源の掘り起こし・磨き上げ・活用【重点項目1】 ②ボランティアとの協働の推進 ③香川県資料館協議会の運営 ④地域での活動への協力	
		(2) 県民への学習支援	①講演会及び講座の実施 ②ワークショップ等の実施 ③レファレンスへの対応	
	2 子どもたちの豊かな感性、創造性の育成	(1) 教育委員会との連携による文化芸術教育の推進	①ミュージアム活用研究会の開催 ②ティチャーズプログラムの実施	
		(2) 子どもたちが自ら感じ、考え、創造する力の育成の支援	①鑑賞及び学習ツールの普及 ②子ども向け事業の実施	
2 香川の文化創造に寄与し、豊かな社会を実現する原動力となるミュージアム	1 文化資源の収集	(1) 収蔵品の充実	①収集方針に沿った能動的収集【重点項目2】 ②収蔵空間の拡充の検討	
		(2) 収蔵品の継承	①収蔵品の適正な管理と修理 ②災害時の収蔵品取扱に関する指針に基づいた活動	
	2 自ら主体的に関わる文化芸術活動の推進	(1) 芸術と県民をつなぐ	①創作活動発表の場の提供(県展運営の改善等)【重点項目3】 ②芸術家の創造力を生かした事業の実施 ③新人賞展の開催 ④貸館機能の促進	
		3 分野を超えた調査研究による新たな価値の創造・蓄積と発信	(1) 収蔵品や県内外の作品・資料の調査研究による魅力の発見	①預託(収蔵予定)資料の調査と活用 ②収蔵品の研究 ③多角的調査の実施 ④外部の研究機関・研究者と連携した調査の実施
			(2) 調査研究成果の効果的な発信	①当館刊行物(調査研究報告、図録、ニュース、解説シート)への掲載 ②新聞・雑誌・書籍等への情報発信 ③学会・研究会での発表、学会誌への寄稿
		(3) 収蔵品情報の適切な公開	①インターネットを活用した収蔵品情報の公開 ②収蔵品目録の刊行 ③作品・資料の実物の公開及び活用の促進	
3 香川の魅力を発信し、感動を呼び起こすミュージアム	1 香川の魅力を発信し、感動を呼び起こす事業の実施	(1) 感動を呼び起こす	①魅力ある大規模な特別展の開催【重点項目4】 ②異なる分野を融合した展示 ③貴重な文化財等の公開の促進	
		(2) 収蔵品により香川の魅力を呼び起こす	①常設展示における収蔵品の活用【重点項目5】 ②市町等と連携した展示	
		(3) 観覧者の満足度を向上させる館内環境の実現	①ミュージアムの機能強化に向けた総合的なリニューアルの検討【重点項目6】 ②歴史民俗資料館の活用【重点項目7】 ③ショップ、カフェの充実	
		(4) 戦略的な情報発信と知名度の向上	①広報体制の強化 ②SNSを活用した情報発信 ③ホームページによる積極的な情報発信 ④ミュージアムパスポートの拡充	
使命を達成するための環境・体制の整備		(1) 安全・快適に利用でき、貴重な収蔵品の公開にふさわしい施設の維持	①設備の老朽化・バリアフリー化・ユニバーサルデザイン導入、障がい者対応等の策定・実施	
		(2) 外部資金の活用や職員の確保による事業の質の向上	①学芸員の確保 ②外部資金による事業の推進	
		(3) 県民や外部の専門家の意見を反映した運営の改善	①ミュージアムへの認識把握のための取り組み ②アドバイザー、運営協議会等の助言	

IV 重点項目

使命及びその施策体系に基づき、地域とともに、香川のもつ地域力・文化力を守り育て、地域活性化を図ります。同時に成果を広く県内外に発信することで、幅広く利用され、「知の拠点」としてのミュージアムとなることを目指し、次の項目に重点的に取り組みます。

※項目ごとに、施策体系の中での位置づけと文化芸術振興計画の該当する施策体系を示す。(文化芸術振興計画の末尾の☆は重点的に実施する事業)

重点項目 1 地域の文化資源の掘り起こし・磨き上げ・活用

【施策体系上の位置】使命1—基本方針1—活動目標(1)—活動内容①

- ・地域とのつながりを保ち、協働して、地域に根差した固有の文化資源を掘り起こし、保全や活用に取り組めるよう磨き上げを行います。
- ・地域にある文化資源の把握、保全と活用について、香川県教育委員会や市町教育委員会、香川県資料館協議会加盟施設などの公的組織の協力のもと、地域の人びとと協働して取り組みます。この取組みを通じて、地域の魅力を発見し継承するしくみを定着させるとともに、これを担う人材の増加を図ることで、地域の活性化につなげます。
- ・地域住民やミュージアム文化ボランティアを主体としつつ、行政や大学などの専門機関や資料館、文書館、美術館などの関連施設との連携により、阪神淡路大震災や東日本大震災のような大規模災害に備える「文化財レスキュー」などのネットワークづくりを進めます。

【文化芸術振興計画】Ⅲ-(3)-①文化財や文化遺産の整備保存と積極的な活用☆

重点項目 2 収集方針に沿った能動的収集

【施策体系上の位置】使命2—基本方針1—活動目標(1)—活動内容①

- ・美術作品及び歴史、民俗資料について、魅力ある独自のコレクションを形成するために、時代や地域のバランスに配慮し、コレクションの価値や魅力を向上させるよう、収集方針に沿って「購入」を含めた能動的な収集を行います。
- ・新たな収集品に関する調査・研究を行うとともに、既に収蔵されている作品・資料を含めて知見の深化を図ります。

【文化芸術振興計画】Ⅲ-(3)-③美術品や歴史資料の収集保全と積極的な活用☆

重点項目3 創作活動発表の場の提供

【施策体系上の位置】 使命2—基本方針2—活動目標(1)—活動内容①

- ・香川県美術展覧会を毎年開催するとともに、時代の価値観や技術・技法、表現方法の変化に応じた質の高い内容を提供し、県民により親しまれる展覧会とするほか、応募者の参加の促進や作家育成など県民の創作活動に対する意識と意欲の向上の場とするため、実施方法などを改善します。
- ・文化会館については、県民ニーズに沿った運営を図り、利用者数の維持に努めます。

【参考】香川県美術展覧会応募者数

(単位:人)

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
応募者数	1,410	1,386	1,337	1,272	1,296
40歳以下 応募者数	140 (9.9)	138 (9.9)	52 (3.9)	114 (8.9)	127 (9.8)

()内は応募者数に対する比率、単位: %

【参考】文化会館利用者数(平成30年1月31日現在)

(単位:人)

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数	30,209	38,884	42,764	28,772	10,321

平成29年9月～30年3月は工事のため休館

【文化芸術振興計画】 I-(1)-②香川県美術展覧会の開催☆

【文化芸術振興計画】 II-(1)-①県立文化施設の利用の促進☆

重点項目4 魅力ある大規模な特別展(以下「特別展」という。)の開催

【施策体系上の位置】 使命3—基本方針1—活動目標(1)—活動内容①

- ・美術、歴史、民俗など多彩な分野を扱う総合的なミュージアムとして、異なる分野の融合を図るとともに、新しい表現や視点を取り入れた魅力ある特別展を開催します。
- ・春季・秋季の年2回を基本としつつ、瀬戸内国際芸術祭などの大規模イベントと連携した特別展などの開催も検討します。
- ・展示や関連行事などの内容はもとより、タイトル、キャッチコピーなどに柔軟な表現や意外な視点を取り入れ、幅広い人々にとって分かりやすく親しみやすい演出を心がけます。

- ・観覧者が自分の経験や知識に引き付けて考えたり感じたりできるような工夫を心がけます。
- ・ミュージアムの収蔵品（美術作品や歴史・民俗資料など）に対する独自の視点や、地域に根差した題材をもとにした自主企画の展示を重視します。
- ・展覧会の質の向上を目指し、館内外の関係者により、内容や展示手法などについて評価を行います。

【参考】特別展の入場者数 (単位：人)

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
回 数	6回	5回	8回	7回	5回
入場者数	58,305	52,651	78,043	56,107	43,358

【文化芸術振興計画】Ⅲ-(2)-①ミュージアムでの大規模展覧会の開催☆

【文化芸術振興計画】Ⅲ-(3)-③美術品や歴史資料の収集保全と積極的な活用☆

重点項目5 常設展示における収蔵品の活用

【施策体系上の位置】使命3—基本方針1—活動目標(2)—活動内容①

- ・30万点を超えるミュージアムの収蔵品（美術作品や歴史・民俗資料等）の意味や意義、それを取り巻く香川の文化芸術の優れた点や背景を多くの人びとに知ってもらうために、常設展示における収蔵品の一層の活用を図ります。
- ・県や県内各地域の特徴を活かしたテーマや県全体に関わる節目の行事などを記念したテーマを設定し、香川のもつ魅力を発信する常設展示を開催します。
- ・展示の内容、タイトルなどに柔らかな表現や意外な視点などを取り入れ、幅広い人々にとっての分かりやすく親しみやすい演出を心がけます。
- ・観覧者が自分の経験や知識に引き付けて考えたり感じたりできるような工夫を心がけます。

【参考】常設展示の入場者数 (単位：人)

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
回 数	13回	13回	16回	14回	15回
入場者数	61,363	63,989	54,984	62,672	49,447

【文化芸術振興計画】Ⅲ-(3)-③美術品や歴史資料の収集保全と積極的な活用☆

重点項目6 ミュージアムの機能強化に向けた総合的なリニューアルの検討

【施策体系上の位置】使命3—基本方針1—活動目標(3)—活動内容①

- ・機能強化を図るためリニューアルについて次のような点を検討します。
 - これまでの調査・研究成果を反映させた学びの場としてより効果的な展示室への改修
 - 館の機能や役割に応じた展示施設の刷新
 - 来館者の安全性や利便性(バリアフリー化など)の高い利用環境の実現
 - 県民が親しめる空間の実現
- ・新たな展示方法を実践するとともに、最新成果を観覧者と共有する工夫をすることにより、リニューアルのノウハウの蓄積に努めます。

【文化芸術振興計画】Ⅱ-(1)-②中核施設としての県立ミュージアムの機能強化☆

【文化芸術振興計画】Ⅱ-(1)-⑦高齢者、障害者、経済的弱者等が容易に文化芸術に触れることができる環境の整備

重点項目7 瀬戸内海歴史民俗資料館の活用

【施策体系上の位置】使命3—基本方針1—活動目標(3)—活動内容②

- ・瀬戸内海歴史民俗資料館が所蔵する国指定文化財をはじめとする多くの歴史及び民俗資料について、展示方法の工夫などにより、県民が優れた文化遺産に親しむ機会を充実させます。
- ・歴史及び民俗資料に加え、自然や環境及び生態系の展示を充実させることで、子どもたちがこれらの分野を総合的に学習できるような機能を付与することについて検討します。

【文化芸術振興計画】Ⅱ-(1)-④瀬戸内海歴史民俗資料館の活用☆

<p>1 地域の入びと と 地域活性化に 取り組む、とも に成長する ミュージアム</p>	<p>1 県民との協働や 地域活性化への貢献</p>	<p>(1) 地域や県民などとの協働 (2) 県民への学習支援</p>	<p>①地域の文化資源の掘り起こし、磨き上げ、活用【重点項目1】 ②ボランティアなどの協働の推進 ③香川県資料館協議会の運営 ④地域での活動への協力 ①講演会及び講座の実施 ②ワークショップ等の実施 ③レファレンスへの対応 ①ミュージアム活用研究会の開催 ②ティチャーズプログラムの実施 ①鑑賞及び学習ソールの普及 ②子ども向け事業の実施</p>	<p>Ⅲ-(9)-①文化財や文化遺産の蓄積保存と積極的な活用☆ Ⅲ-(9)-②ボランティアの育成・協働 Ⅲ-(9)-③文化施設間の連携強化 Ⅲ-(9)-④市町との連携 Ⅰ-(9)-④県民が芸術文化に触れる機会の充</p>
<p>2 香川の文化創 造に参画し、 豊かな社会を 実現する 原動力となる ミュージアム</p>	<p>2 自ら主体的に関わる 文化芸術活動の推進</p>	<p>(1) 取産品の充実 (2) 取産品の継承 (1) 芸術と県民をつなぐ</p>	<p>①取産品方針に沿った継続的収集【重点項目2】 ②取産空間の拡充の検討 ①取産品の適正な管理と修理 ②災害時の取産品取扱に関する指針に基づいた活動 ①制作活動発表の場の提供(県運営書の改善等)【重点項目3】 ②芸術家の創造力を生かした事業の実施 ③新人賞展の開催 ④賞額機能の促進 ①預託(取属予定)資料の調査と活用 ②取産品の研究 ③多角的調査の実施 ④外部の研究機関・研究者と連携した調査の実施 ①当館刊行物(調査研究報告、図録、ニュース、解説シート)への掲載 ②新聞・雑誌・書籍等への情報発信 ③学会・研究会での発表、学会誌への寄稿 ①インターネットを活用した取産品情報の公開 ②取産品目録の刊行 ③作品、資料の実物の公開及び活用の促進</p>	<p>Ⅲ-(9)-③美術品や歴史資料の収集保全と積極的な活用☆ Ⅰ-(9)-②香川県美術館の開催☆ Ⅰ-(9)-④文化芸術新人賞の表彰と活動支援 Ⅱ-(9)-①県立文化施設の利用の促進☆</p>
<p>3 分野を超える関係 者による新たな 価値の創造・発信 と発信</p>	<p>3 香川の魅力を発信し、感動を呼び起こす 事業の実施</p>	<p>(1) 感動を呼び起こす (2) 取産品により香川の魅力を 呼び起こす (3) 観覧者の満足度を向上させる 館内環境の美観 (4) 戦略的な情報発信と知名度 の向上</p>	<p>①魅力ある大規模な特別展の開催【重点項目4】 ②異なる分野を融合した展示 ③貴重な文化財等の公開の促進 ①情報誌における取産品の活用【重点項目5】 ②市町等と連携した展示 ①重点項目1の連携強化に向けた総合的な 取産品の活用【重点項目6】 ②ワークショップ、カフェの実施 ③広域体制の強化 ④SNSを活用した情報発信 ⑤ホームページによる戦略的な情報発信 ⑥ミュージアムバムポートの拡充</p>	<p>Ⅲ-(9)-①ミュージアムでの大規模展覧会の開催☆ Ⅱ-(9)-②中核施設としての県立ミュージアムの機能強化☆ Ⅱ-(9)-④瀬戸内海歴史民俗資料館の活用 Ⅱ-(9)-①多様な情報インフラやメディアを活用した情報発信☆ Ⅱ-(9)-③県内向け情報発信施設の整備</p>
<p>使命を達成するための連携・体制の整備</p>	<p>(1) 安全・快適に利用できる、豊富な取産品の公開にふさわしい施設の維持 (2) 外部資金の活用や関係者の 確保による事業の質の向上 (3) 県民や外部の専門家の意見を 反映した運営の改善</p>	<p>①取産品の確保 ②外部資金による事業の推進 ①取産品の老朽化・バリアフリー化・ユニバーサルデザイン 導入、障がい者対応等の策定・実施 ①ボランティアの確保 ②外部資金による事業の推進 ①ミュージアムへの協議把握のための取り組み ②アドバタイズ、運営協議会等の設置</p>	<p>Ⅱ-(9)-①高齢者、障害者、経済的弱者等が容易に文化芸術に触れることができる環境の整備</p>	